

# フラワーガーデン



## 寄せ植え祝い鉢・

### 見て楽しんだなら…



綾歌普及センター  
井口里香

●竹  
仕上げるため芽摘みを行います。

竹は、一般にはチゴザサ、コグマザサなど小型の笹を小作りにしたもののが使われています。

根は切らないで、できるだけ長いまま巻き込み、赤玉土と桐生砂の混合土に植え込み、日当たりの良い場所で管理します。

春のお彼岸頃に、草丈を小さくさせるために根元の節の上で刈り込み、肥料を控えめにして小葉に仕上げます。

●梅  
通常では花は、二月ですが、お正月に咲くように湿度と温度を高めて蕾の発達を早めたものが使われています。

開花後は、八九分咲き終わつた頃、早めに花がらを摘み取ります。植え替えは、ひとまわり大きい素焼き鉢に赤玉土に腐葉土を二割混ぜて植え込みます。

樹形を整えるための剪定は、芽が動き出す前に、各枝の基部二三芽を残して、切り詰めます。肥料は、二六月頃まで置き肥や液肥を与え、花芽ができる七月は肥料を中止し、水やりを控えます。葉が少し巻く程度に乾燥

川砂や腐葉土をまぜた排水の良い土を用います。

植え替えた鉢は直接寒風の当たらない戸外に置き、二月下旬ごろから置き肥（油かす）を与えます。

黒松は、六月中旬ごろ短い葉に



●松  
松は、コケや田土を取り除き、根元の土を付けたまま、素焼き鉢に植え替えます。用土は赤玉土に

お正月の間、私たちの目を楽しませてもらつた祝い鉢は、一日も早く鉢から出して、それぞれの管理をしなければなりません。今月は、寄せ植え鉢・その後の管理についてお話しします。

松の芽摘み  
新芽を2mm位残して  
ハサミで水平に切り取る



梅が散り始めた一月中、下旬には植え替えて、再び寄せ植えに使えるよう管理しましょう。

梅が散り始めた一月中、下旬には植え替えて、再び寄せ植えに使えません。ですから、お正月に咲いた梅が散り始めた一月中、下旬には植え替えて、再び寄せ植えに使えます。

肥料は、二六月頃まで置き肥や液肥を与え、花芽ができる七月は肥料を中止し、水やりを控えます。葉が少し巻く程度に乾燥

気味にすると花芽がつきやすくな  
ります。

九～十月には再び水やり、施肥  
を開始し、その後自然に落葉した  
ら室内に取り込みます。

### ●福寿草

福寿草も梅と同様、あらかじめ  
温度と湿度を与えて促成したもの  
が使われています。

根は太く、長く、そして多いで  
すが切り詰めると花が十分に咲か  
ずになります。

なくなるので、植え替える場合は  
大ぶりの深鉢に赤玉土（小粒）五、  
腐葉土三、桐生砂二の混合土に根  
の長いまま植え込みます。露地植  
えの場合は、排水が良く、有機質  
を多く含んだ場所で、落葉樹の下  
(夏日陰・冬日なた) の西日の当た  
らない場所に植え込みます。

肥料は、緩効性化学肥料を与え、  
三～五月に茂る葉を十分に育てる  
のが充実した花を咲かすポイント  
です。

### ●南天

寄せ植えに用いられるのは、三  
月上旬にタネ播きした小苗か、三

（四月に挿し木した苗が使われて  
います。地植えにすると大きくな  
りすぎるので、小鉢に川砂七、赤  
玉土三の混合土で植え付けます。  
十月に根切りを行うと葉が赤く  
色づきます。

### ●ヤブコウジ

葉の下に実をつけます。したが  
って、右の写真のヤブコウジの実  
は造りものです。（見えるでしょうか？）

鉢植えや地植えにする場合には、  
強い日差しや乾燥を嫌うので、  
裏庭の僅かに日の差す湿気の多い  
所を選んで植えて下さい。

正月を飾るめでたい花に、福寿  
草がありますが、この花は別名に  
も、元日草、朔日草、献歳菊など  
正月の祝いにふさわしい名を持つ  
ており、旧暦では正真正銘、正月  
の花でした。

今、正月には、福寿草という丈  
夫な品種を促成したものが回りつ  
ていますが、白やオレンジ色の品  
種もあって、その気になれば四十  
種ほどは集めることができます。  
大流行した江戸期には百二十余種  
もの記録があり、そのほとんどが  
失われているのは残念です。

贈答用としても多く使われる福  
寿草は、花言葉も「幸せを招く」  
として喜ばれていますが、花言葉  
の本場ヨーロッパでは、野獅子に  
殺された王子アドニスの血と、そ  
れを悲しんだ、女神アフロディイの  
涙から咲いた花として、赤いフク

# 今がみごろ

旬の花

河江 正明

# 福寿草



ジュソウの花は「悲しい思い出」  
とされていますので、花の色には  
ご注意を。

福寿草の根は、漢方では強心剤  
としても利用されますが、強い毒  
性を有し、素人は決して用いては  
いけません。もちろん、さわった  
くらいは大丈夫。

寄せ植えでは、根を短く切つて  
いますが、毎年咲かせたいなら、  
根を大切に、大きな鉢に植えてお  
きましょう。

病室の暖炉のそばや福寿草